

すいさん山形

No. 375

令和6年 / 3月号

漁民と手をつなく広報誌

山形県漁業協同組合
広報誌

みんなに届け! 庄内浜のおいしい魚!



令和6年2月12日(月)、山形市の霞城セントラル広場にて寒鰯まつりin山形が開催されました。

今回で5回目となるこのイベントは庄内浜産水産物の更なる認知度向上と消費拡大を図り、内陸地方の方にも「冬は寒鰯汁!」を定着させたいという思いから始まったもので、県からの要請を受けた県漁協女性部は、初めての出店となります。

当日は、2月とは思えない晴天でしたが、思いのほか風が強かったこともあり、出来立てあつあつの寒鰯汁で体を温めるお客様の姿が印象的でした。寒い中で食べる寒鰯汁は、一味も二味もおいしいことを、ぜひたくさんの人に知っていただけたら嬉しいです。



ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を 乗り越えるための漁業者支援事業説明会開催



3月2日(土)に念珠閣総括支

所管内及び由良総括支所管内にて、3月5日(火)にさかた総合市場管内において標記説明会が開催されました。

この説明会では、ALPS処理水放出に伴う支援事業の方針と、当組合喫緊の課題である自己資本比率10%回復に向けた取り組みについての説明がされました。

ALPS処理水放出に伴う支援事業では、①新たな魚種・漁場の開拓等に係る漁具等の必要経費への支援、②省燃油活動等を通じた燃油コスト削減に向けた取組に対しての支援、③漁業者による省資源化・有効利用等を通じた魚箱等コスト削減に向けた取組に対する支援、④省工エ性能に優れた機器等の導入に要する費用に対する支援の4項目について取組を行う準備をして

います。

また、当組合が漁獲量の大幅な減少等により経営状況が悪化していることは、地区座談会等でも説明させていただいておりますが、ALPS処理水放出に伴う支援を受けられる組合員の皆様には、漁協経営の健全性が確保されるとされている「自己資本比率10%」まで回復させるために、増資をお願いすることとなります。

当組合では、2027年までに繰越欠損金解消となるよう農林中央金庫等と協議しながら経営計画を策定中であり、自己資本比率10%以上が達成された後には再度、信用事業譲渡へ向け取組んでまいりますので、組合員の皆さまには何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

第29回全国青年・女性漁業者交流大会

事例発表をする
大場龍汰さん



2024年3月6日、7日にホテルグランドアーク半蔵門にて第29回全国青年・女性漁業者交流大会が開催されました。

本大会は、全国漁業協同組合連合会(全漁連)が主催し、青年・女性漁業者の研究・実践活動が、水産業・漁村の発展と活性化に大きな役割を果たすことを期待してその活動の成果発表の場として開催されており、今回は全29グループが参加しました。山形県からは第二十一清栄丸の大場龍汰さんが代表として参加し、「活イカ出荷に向けた取り組み」2代目イカ漁師の挑戦」と銘打ち、事例発表を行いました。

大場さんは高校を卒業後、「父のようなイカ釣り漁船の船長になりたい」という熱意で、父子でイカ釣り漁船「第二十一清栄丸」を操業し、丸4年となります。事例発表後の質疑応答では、活イカ水槽導入の経緯やスルメイカの生態について等様々な質問が飛び交いましたが、堂々と答える大場さんの姿に将来の山形県の漁業を担う青年漁業者としての逞しさが感じられました。

今回、大場さんは厳選なる審査の結果、漁業経営改善部門で水産庁長官賞を受賞しました。おめでとうございます。今後も大場さん親子が営む「第二十一清栄丸」の更なる活躍と、安全操業ならびに大漁満足を祈念いたします。

指導課 佐藤 悠太郎





各市場で水揚げされた鮮度抜群の魚を直接仕入れ、「庄内浜の魚を食べられる、買える」山形県漁協直営店である「庄内海丸」がコープしろにし店（山形市）で営業を始めて、はや8年目となります。

3月16日（土）、17日（日）には8周年祭が開催され、初日は開店前から50名ほどの行列ができました。

8周年祭の目玉商品として準備した庄内浜の魚をぎゅっと詰め込んだ「鮮魚BOX」は特に大人気で、どれも午前中には完売し、いかに庄内浜の魚を皆さんが待ち望んでいるかが伝わってきました。初めて足を運んでくださったお客様にも、庄内浜の魚のおいしさを知っていただけたら、本当にうれしいです。

8周年を迎え、これからも、これまで以上に、お客様が喜んでくれる商品を提供し、庄内浜のおいしさをどんどんPRしていくため、気持ちを新たに取組んでまいりますので、今後とも庄内海丸にご期待ください！

由良水産加工場長代理 倉田 公平

新会長紹介 山形県漁協 青壮年部連絡協議会



会長 池田 誠人氏

この度、山形県漁協青壮年部連絡協議会の会長に選任されました池田誠人です。

由良総括支所に所属し、自船の第八十八京誠丸で一本釣り漁を営んでおります。また、傍らで遊漁船業も営んでおり、現在は山形県漁協遊漁船業協議会の支部長も務めております。

当協議会は、会員相互の連絡強調を図りながら、県内の漁協青壮年団体の活動を促進し、漁業および漁村生活の改善のため、また研究意欲の高揚を図ることで社会的・経済的地位の向上を目指すとともに、明朗かつ豊かな漁村建設を目的として活動しております。

今後、山形県の水産業を担う我々世代が中心となり、持続可能な漁業を目指しながら庄内浜の更なる発展のために精進して参りますので皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

理事会情報

令和5年度第9回 理事会議案
開催日…令和6年2月1日（木）
場所…本所 第一会議室

【協議事項】
1 山形県漁協レベル指定及び早期指導先基準抵触に関する経営改善計画（修正版）の提出について

2 令和5年12月末現在収支状況について
【報告事項】
1 「JFマリンバンク基本方針」に基づく指定先基準の決定について
2 その他について

令和5年度第10回 理事会議案
開催日…令和6年3月6日（水）
場所…本所 第一会議室

【協議事項】
1 令和6年1月末現在収支状況について
2 販売規程の一部変更について
3 販売規程における各種手数料（別表）の一部変更について（案）
4 漁業経営特別支援対策資金（単独融資）受付期間の延長について（案）

【報告事項】
1 令和5年12月末現在における資金運用状況について
2 令和5年12月末現在における余裕金運用状況について
3 令和5年12月末現在における貸付金の状況について
4 貸付金利率の改定について
5 令和5年度第3四半期における販売促進活動について
6 令和5年度第3四半期の「庄内海丸」の収支について
7 組合員の加入・脱退について
8 2024年能登半島地震JFグループ支援募金の実施について
9 内部監査結果について
10 コンプライアンス推進委員会の開催について
11 令和5年度地区座談会開催状況について
12 「JFマリンバンク」の内部管理体制構築に係る指針」の一部変更について
13 その他

令和5年度 地区座談会

令和5年11月損益実績を踏まえた年間収支見込について、令和6年度、7年度計画（案）を踏まえた収支の推移と自己資本比率10%回復に向けた取り組みについて、ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業支援事業について説明するとともに、広く意見を承るため1月13日から各地区で座談会を開催しました。主な意見・ご要望について掲載いたします。

念珠関総括支所

1月13日(土) 午前10時30分
出席者24名

Q 自己資本比率が10%となり、信用事業譲渡が完了した後、この増資を返すとのことだが、一括で返金されるのか。

A 増資した年にもよるが繰越欠損金があると満額戻せないため、なるべく早く繰越欠損金を解消したいと考えている。信用事業譲渡が完了次第、初年の増資分を戻し、翌年に次年の増資分を戻す方法を考えている。1度に2年分すべて戻すと、短期的に出資金が減少しすぎるという懸念があるため、十

分に考慮して対応させていただきたい。

Q 組合の経営状態は予断を許さない状況である為、不要資産の譲渡を行った方が良い。

A 早田集荷所の前例に倣い、他地区の集荷所も組合員に譲渡する等検討し、収支改善させたい。

温海出張所

1月13日(土) 午後1時30分
出席者21名(内女性部1名)

Q ALPS処理水の支援を基準とし、増資をお願いすることだったが機器導入についても同様か。

A 機器導入については増資をお願いしない。使用料に応じて支援される船底清掃と魚箱の助成金額を基準に増資をお願いする。

Q ALPS処理水の支援については、海浜清掃活動に対する支援もある。自治会等の協賛でも支援されるのか。またどこまで支援していただけるのか。

A 漁業者だけが支援対象となる。人件費、ごみの処理費用、船外機の使用料、資材費等が該当すると想定している。

Q 温福港のゴミ処分については鶴岡市から助成してもらっているが、ALPS処理水支援事業との併用

は可能か。

A 重複しての申請は出来ないが、計画を立て、事前に組合に相談していただければ支援が受けられるよう手続きを進める。

加茂出張所

1月24日(水) 午前8時
出席者23名

Q 故障中で使用できないATMは今後どうなるか。

A 新札に対応したATMを導入する場合2000万円以上必要となる。また、現状の維持コストについても年間700万円程度かかっている。一番利用回数が多い加茂出張所でさえ、1営業日あたり11回程度しか利用されておらず、当組合の置かれている状況から考えると、今後のATMの稼働については費用対効果の面で非常に困難である為稼働の予定はない。

Q 小型船舶船溜の倉庫の外壁が剥がれている。修理対応をお願いしたい。

A 集荷所や漁具倉庫等の修繕については、保険対応ができない場合、利用している漁業者に負担をお願いしている場合があるので相談したい。

Q 小型船舶船溜の砂防フェンスを設置してもらい、係留場所の浚渫

もしてもらったが、現在も砂が蓄積され注意しながら航行している。斜路の方も含め再度浚渫を要望してもらいたい。

A 直ちに要望する。

Q 荷捌所の引戸が非常に開けにくい。修理をお願いする。

A 承知した。

豊浦支所

1月24日(水) 午前10時30分
出席者18名

Q ALPS処理水支援事業の件で船底清掃等の申請用紙に記入したが、どういう計算で補助金が出るのか。

A 上架料については年間の「燃油使用料×13円」と「実費用」を比べ、低い方が支給対象となる。また、魚箱の補助金については、年間で50㎏以上の燃油を使用している方は対象外となる。

Q ALPS処理水支援事業の補助金を基準額として増資して欲しいとのことだが、我々は二年間使えないのか。

A 自己資本10%回復に向けて増資計画を作成し協力願いたい。

Q 箱・氷・手数料を引き上げることは、組合運営の為を思えば受入れざるを得ない。ただ、低単価の

魚については箱詰めしても経費分の採算が取れない場合もある。経費削減のためだけでなく、水産資源保護の観点から、(定置漁業については)海に戻すこともできるので、箱詰めしても採算が取れないものについては連絡をいただきたい。

A 販売課、支所、漁業者で連絡を密にして連携をさせてもらいたい。

Q 増資の具体的な案はあるのか。

A 今回の増資と、これまでの出資金と違いはあるのか。払い戻す場合はどういった基準で、どの程度戻すのか。

A 現段階で確約はできないが、増資して頂いた分については、信用事業譲渡が完了した際に随時払い戻しができるようにと考えている。繰越欠損金がある場合には満額戻せないこともあるが、定款や諸規程等を確認し、皆様に報告する。

Q 信用事業譲渡に向けて大変厳しい状況にあると思うが、譲渡のメリット・デメリットを教えてください。

A コンビニ等でキャッシュカードが利用できるようになるのが分かりやすいメリットであるが、一番は信用事業譲渡する事で漁業近代化資金等の金融面が保障される事がメリットであり、漁業者がこれまで通り必要に応じて借入ができる。

Q 全体の水場金額の予測について令和6年度が22億円、令和7年度が19億円となっているが、数字の根拠は何か。

A 過去10年の平均単価と直近3年の平均単価、漁業種類ごとの数量に単価を乗じて算出した。漁業者の高齢化や漁船の老朽化、廃業等も考慮している。

Q コンサルタントから指導を受けていたが、組合ではどんな取組をしたのか教えてください。

A 早田集荷所と油戸の小屋を撤去、飛鳥支所の廃止、温海出張所の無人化等を行った。他の集荷所も撤去するよう指導を受けているが、一度ではできないので徐々に考えている。加工事業については、庄内海丸をコープ桜田店に1店舗増やした。

由良総括支所

1月24日(水) 午後1時
出席者17名(内女性部2名)

Q ALPS処理水支援金を基準とした増資の出資金は2年間預からせてほしいとのことだが、2年後に返すのか。

A そのつもりだが、繰越欠損金があった場合は100%戻らない。

Q 2年辛抱したとしても3年後の

組合状況はわからない。満額戻せる保証はあるのか。

A 保証があるかと言えば、現在確認中の部分もあり、保証はない。ただ皆さまには相当な負担をおかけしているので、相当な覚悟を持ってやっていく。

Q コンサルタントからの提案はどうなっているのか。

A 伸びしろがあるとされた加工事業についてはいくつかの提案を計画に盛り込んでいる。また早田集荷所の廃止や温海出張所の無人化等はすでに取り組んでいる。

Q 増資の件は理解した。自分は賛成するし、組合を信じたい。ただし、これ以上支所職員を減らさないで欲しい。一人で何役も仕事をこなすのは大変だし、こちらも頼みづらい。

A 承知した。

Q 現場を担当する職員が減って、魚箱や活力二箱など重い荷物を一人でいくつも積む必要があり、身体的負担も大きい。身体の負担を軽減するパワードスーツを導入してはどうか。または体の動きを補助するサポーターのようなものを支給してはどうか。

A 前向きに検討する。

Q 本港の船外機の巻き揚げ場は今後どうするのか。

A 県から土地を借りているので、県と相談させてもらいたい。

Q 相続手続きのためにJAに行つたが、相続金を定期にすると高利率だと勧められた。組合には同様の金利施策はないのか。ないにしても、それに近い利率で営業できないのか。

A 当組合にはそのような金利施策はない。

さかた総合市場

1月26日(金) 午前10時
出席者14名

Q 手数料を1%上げるより、燃油などを組合から購入してもらう方が利益につながるのではないかと。そう言ってもらえるのはありがたいが強制はできない。

Q 水場も減り各種値上げは大変だ。組合としては信用事業の継続に關して危機感がある。組合員に対して不利益にならないよう様々な方面に相談している。

Q 役員報酬の50%を削るという案はないのか。

A 50%削るという案はない。

Q ATMは残してもらえないのか。

A ATMの手数料だけでは維持できなくなった。しかし利用する皆様が不便にならないように、信用事業の譲渡を考えている。

吹浦支所

1月26日(金) 午後1時30分
出席者19名(内女性部3名)

Q 以前、加工事業の海丸については利益を目的にしていけないと説明をうけたが、現在もその考えに変わりはないか。

A 利益だけを目的とした事業ではなく、地場の鮮魚を県内外へ紹介する販促的な事業である。ただ海丸に限らず、加工事業については今後、利益も十分に考えた事業展開をするように農林中央金庫やJFマリンバンク等から指導されている。利益が十分に確保できない場合は加工事業を止めることも考慮するよう言われている。現在、経営改善計画を策定中であり、完成次第、農林中央金庫及びJFマリンバンクに提出する。了承された際には皆様に改めて説明させていただく。事業単体ではなく、組合全体が継続していくためにも利益確保の必要がある。

性のある内容しか盛り込まないよう指導を受けている。今後収益が見込めるような事業についても、不確定要素が大きかったり、数字がはっきりと示せないものなどは計画に盛り込むことができない。令和6年度及び7年度の計画については、農林中央金庫やJFマリンバンクと共に精査しながら作成しているの、信用していただきたい。

Q すべての物が値上げしている状況だ。魚価が現状より高くなるよう対策してほしい。

A スルメイカの高騰が背景にあるが、12月31日時点で全魚種の平均単価は777・7円となっている。スルメイカを抜いても687・3円となっており、リーマンショックの頃の380円と比べ、魚価は上がっている。コロナ1年目は475円、2年目は540円と単価は確実に上がってきている。単価が上がった理由としては「紅エビ」を活魚として販売したり、飛島では「活アワビ」を出荷するなど、出荷方法を工夫している方策が功を奏している。吹浦地区では「岩ガキ」で冷水殺菌装置を利用し出荷するために、オーダーメイド補助金を使い設備を導入した。今後も魚価を上げる取り組みは続けていく。設備投資に対する補助金等がある際は皆様にお知らせする。

Q 自己資本比率について、具体的な

な対策を教えてください。

A 信用事業を行っている漁協としては自己資本比率10%というのが一つの基準となる。それを割り込んだからと言ってすぐに信用事業をやめなければいけないということではない。最低ラインは4%であるが、これは銀行など大きな金融機関の基準であり、当組合としてはJFマリンバンクが定める基準まで回復するために、ALPS処理水支援金の額を基準とした増資、漁業振興基金や信用基金協会への相談を行っている。他方策を探している。現時点では不透明な部分もあるため、準備ができ次第、皆様に提示したい。

Q 以前座談会で説明があったコンサルタントの提案は実行したのか。

A コンサルタントの分析をもとに老朽化している集荷所や漁具倉庫等を廃止、譲渡した。また、修繕費などの一部経費を漁業者に負担していただいている。修繕が必要な施設が多いが、一度にやってみようと収支に大きな影響がでるため注意して進めていきたい。

Q 吹浦支所は来年度から1名体制になるのか。

A 人件費は大きな課題ではあるが、減員は困るという声もある。現時点では断言できないが、吹浦支所のみだけでなく他の支所も含め、今後は2人体制とはならないだろう。仮に1名体制となっても、さ

かた総合市場からの応援等体制を検討する。

Q ATMがなくなれば精算金や給与の受取などで酒田まで行かなければならなくなる。運転できない組合員もおり、周知徹底をしていただきたい。3月末で撤退という認識でいいのか。またJAのATMは利用できるというが、通帳記帳はできないとのことだから出来るように要望してもらいたい。

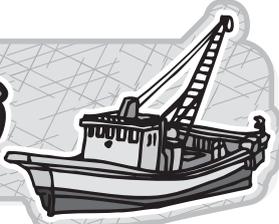
A 今後も周知徹底していく。ATMは3月末で撤退するが、大きな故障があれば早まることもありうる。キャッシュカードのみではあるがJAのATMでも引出し可能だ。記帳もできるようにするよう要望していく。ご不便をおかけするが、漁協のATMは利用率が低く、一番多い支所でも一日11件程度であった。維持管理費を考えたときに手数料ではまかないきれず、また新札対応のATMを新規導入することも難しい。信用事業を東日本信漁連に譲渡できれば、コンビニATMなどでも使用可能になり、利便性が向上する見込みなのでご理解とご協力をお願いしたい。

Q 精算金を他の銀行へ入金してもらえないのか。

A 入金できるが、手数料が発生し、水揚精算金や未収金等の管理が面倒になる可能性がある。



何でも魚^{うお}ツチング



紅エビの活魚出荷にむけて

今回の何でも魚ツチングは、念珠関総括支所所属の漁業士のみなさんと共同で実施している紅エビ（ホッコクアカエビ）の活魚出荷に向けた取り組みを紹介いたします。

獲れたての紅エビは、透明感のある鮮やかな紅色をしていて非常に綺麗ですが、底びき網では漁獲時のダメージで衰弱しやすく、活魚出荷は困難とされてきました。

そこで、平成31年度から漁業士のみなさんとの話し合いを始め、活魚出荷を実現するべく船上・陸上試験により検証を行いました。主な内容としては混獲魚類（主にゲンゲ類）を減らす漁具改良や活魚に適したエビの選別基準の検討、ダンベを用いた短期

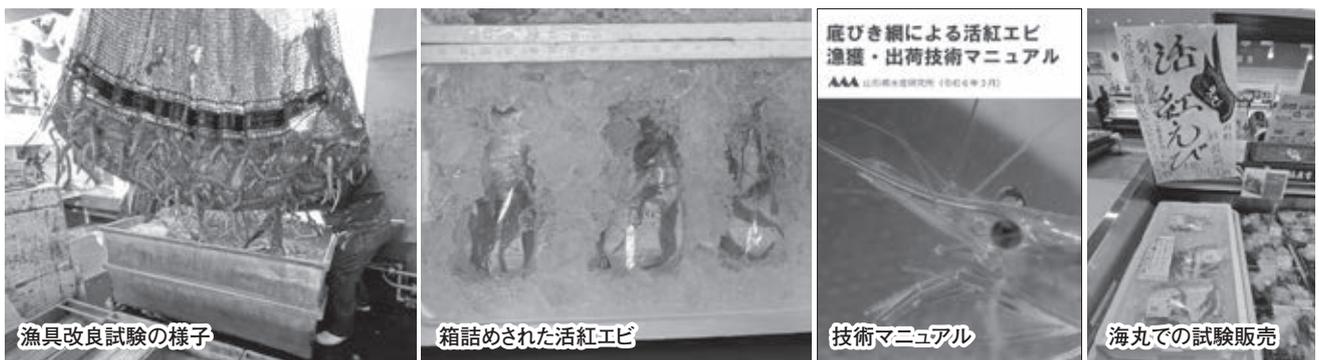
蓄養装置の構築と活魚バックを用いた出荷方法の検証です。

これらの試験結果を受けて、念珠関の一部の方々が、紅エビを活かしたまま運搬し、活エビや活締めエビとして出荷されています。

これまでの取り組みの成果は、「底びき網による活紅エビ漁獲・出荷技術マニュアル」として発行し、各支所に配布予定ですので、ぜひご覧ください。また、興味がある方はお気軽に水産研究所にお問い合わせください。

最後に、5年間にわたり各種試験にご協力いただいた山形県漁業士会の佐藤勝則様、五十嵐万早樹様、佐藤英壮様、佐藤洋生様、念珠関総括支所職員のみなさまに心より感謝申し上げます。

山形県水産研究所海洋資源調査部 榎 宗市郎



漁具改良試験の様子

箱詰めされた活紅エビ

技術マニュアル

海丸での試験販売

JFやまがた マイカーローン

固定金利 年1.90% (保証料込)

令和6年3月1日から令和7年9月30日まで

ネットがかんたん♪ 返済シュミレーションで返済額を確認できます!

お使いみち

- 自動車購入
- バイク購入
- 免許取得
- 車検・修理費用
- 除雪機の購入 新たに追加

スマホ・パソコンからアクセス!

JFやまがた 検索

JF マリンバンク 山形県漁業協同組合 山形県酒田市船場町二丁目2番1号
お問い合わせ先 ☎0234-24-5613(本所 信用共済課) ☎0235-73-3011(由良総括支所) ☎0235-44-2100(念珠関総括支所)

県漁協女性部 JF 共済研修会



去る2月13日と3月2日に、山形県漁協女性部加茂支部と由良支部の定例総会がそれぞれ開催され、終了後に共済事業に関する研修会を行いました。講師として、JF共水連東北事業本部山形支店の坂本淳調査役をお招きし、昨今の介護事情を交えて、「介護共済」で備えることの必要性、漁業者の方だけでなく、ご家族の方の保障としての傷害共済「乗組員厚生共済（ノリコー）」、1月1日に発生した能登半島地震を始めとする、今後の自然災害に備えるための「生活総合共済（くらし）」契約の必要性や見直し等をお話していただき、大変有意義な時間を過ごす事が出来ました。

由良総括支所 小林 舞

念珠関総括支所阿部支所長 岩手県「JF共済」担当課長会議にて講演

2月14日(水)、岩手県盛岡市の岩手県水産会館にて『岩手県「JF共済」担当課長会議が開催され、研修として本県念珠関総括支所阿部勝樹支所長に『「浜のあんしんサポート運動」を活かした早期推進の取組み』と題し講演いただきました。

阿部支所長にはこれまでJFあきた、JFみやぎでの講演、全国担当者研修会、全国推進本部会長会議で実践報告いただき、今回が5回目の講演となりました。

今回は、2021年度から3期連続での年度計画早期達成した推進のポイントや支所全職員での共済事業への取組み、管理職としての職員の育成等について自身の経験を踏まえてお話をいただきました。

当日は岩手県の漁協共済担当課長・職員22名が出席。講演後出席者からの質疑に答えていただいた他、懇親会でも活発な意見交換があり、大変有意義な研修となりました。 JF共水連東北事業本部山形支店 坂本 淳



JF JF共済

JF
JFやまがた

ご加入感謝 キャンペーン

キャンペーン
実施期間

令和6年4月1日～6月30日

期間中

チョコ
普通厚生共済

くらし
生活総合共済

ご加入された方に

**宮城県産
ほたて貝柱(冷凍)**

**もれなく
プレゼント!!**





JF JF共済 各共済制度ポイントのご紹介①

いつも漁協の共済事業にご理解、ご協力いただき有難うございます。
 今月号よりJF共済の各共済制度のポイントをご紹介します。
 今回は生命共済「チョコー」についてです。

チョコー(普通厚生共済)の8大ポイント!!

① がん入院・退院後通院の保障拡充

- ・がんによる入院について、1回の通算日数を無制限に保障します。
- ・がんによる退院後通院について、退院後の翌日から200日以内の通院(1回)について無制限、通算限度を無制限に保障します。

がんは2人に1人になるといわれています。また、近年は通院による治療が増えており、通院期間は5~10年といわれています。

※公益財団法人 がん研究振興財団「がんの統計'16」

② ギプス保障拡充

- ・頭がい、せき柱、体幹または四肢の骨折に加え、筋、腱、靭帯の損傷によるギプス固定期間も通院日数として支払の対象になります。

ケガによる通院のうち、約48%が骨折、筋・腱・靭帯の損傷によるものです。

※厚生労働省「平成26年患者調査」

③ シニア世代にも安心の保障

- ・終身・養老共済における61歳以上の方の方が一の保障金額1,000万円医療共済金額を10,000円まで引受可能。

2017年の55歳以上の漁業就業者数は全国で9.3万人。全漁業就業者数のおよそ6割を占めております。

※公益財団法人 がん研究振興財団「がんの統計'16」

④ 女性疾病入院特約「りぼん」

- ・女性特有の疾患や生活習慣病、すべてのがんも手厚く保障します。
 ※男性の場合は「生活習慣病特約」となります。

入院患者数は男性より女性のほうが11.1万人多く、女性の乳がんの総患者数は20万6千人もいるという結果が出ています。

※厚生労働省「平成26年患者調査」

⑤ 海難事故等の保障を拡充

- ・災害死亡割増特約における海難特別給付金・交通事故割増給付金が旧制度の3倍(特約共済金額×30%)に引き上げられています。

2017年の船舶事故及び漁船からの海中転落(船舶事故以外)による死者・行方不明者数は全国で101人いました。

※厚生労働省「平成26年患者調査」

⑥ 100型養老共済・50型終身共済

- ・低廉な掛金で大きな保障を備えることができます。
 ※加入年齢の制限あり

就学中の子どもを持つ一家の大黒柱の平均死亡保障金額は、およそ2,600万円。

※公益財団法人生命保険文化センター「生活保障に関する調査(2016年度)」

⑦ 一時払こども共済「希望」

- ・祖父母の方に対し、教育資金造成のためにお孫さんへの保障提供が可能です。(契約者年齢の制限無し)
- ・通常のこども共済について契約者年齢の範囲を60歳に引き上げます。

幼稚園から大学まで全て公立の学校に通ったとしても約1,000万円かかり、全て私立の場合だと約2,500万円かかります。

※文部科学省「子どもの学習費調査」(平成26年度)
 ※日本政策金融公庫「教育費負担の実態調査」(平成28年度)

⑧ 特別養老共済の加入範囲拡大

- ・健康に不安がある若年層やシニア層への保障の提供を可能にするため、加入年齢を18歳~85歳まで範囲が拡大しています。

自身の健康について61.1%の方が不安があると思っており、その内約4割の方が「持病がある」と回答しています。

※厚生労働省「平成26年健康意識に関する調査」

上記の内容は、普通厚生共済「チョコー」の概要を説明したものです。詳しくは山形県漁業協同組合本所・各支所もしくは、JF共水連東北事業本部山形支店へお尋ね下さい。

ご契約の際は「重要事項説明書」及び、「ご契約のしおり」を必ずお読み下さい。

酒保の海だより

知ってました？“靴のすべり止めシール”



酒田海上保安部から皆様のお役に立つ情報第十二弾！！
もうすぐ春ですが、今年は雪が少なかったですね～
でも漁船における人身事故の根本的原因で一番多いのは
“転倒” だそうです。この転倒をきっかけにロープに絡まっ
たり回転機械に挟まれたり・・・この転倒を防止するには
「すべらない靴」を履くのが効果的とのことですが・・・
いい靴って高いし、お気に入りの靴がありますよね。
そんなとき！

ピタッと貼るだけ！

数百円



海の事件・事故は電話118番

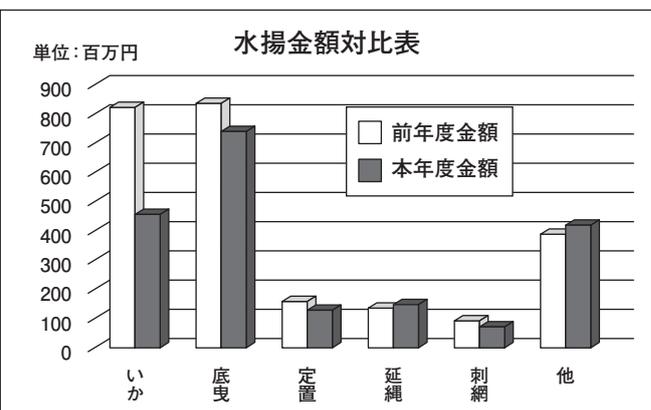
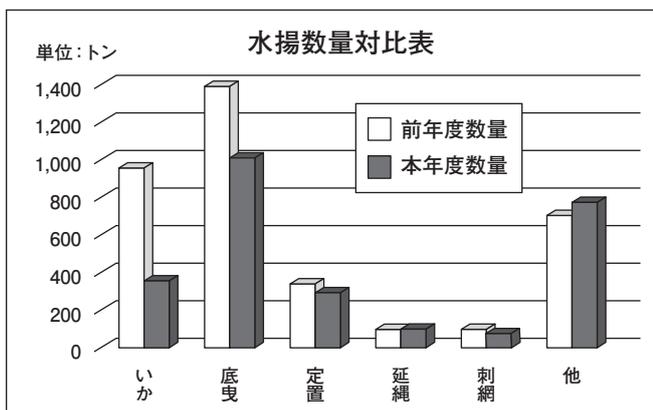
酒田海上保安部

漁業種類別前年度水揚対比表

令和6年2月29日現在

(単位：kg, 千円)

	2月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	2月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	221,504	1,005,193	1,385,332	▲380,139	83,475	741,856	838,131	▲96,275
2 刺網漁業	5,505	69,275	91,870	▲22,595	4,559	70,922	91,051	▲20,129
3 いか一本釣漁業	7,096	176,636	474,828	▲298,192	9,267	166,081	310,748	▲144,667
4 船凍いか釣漁業	0	173,140	479,200	▲306,060	0	292,285	511,893	▲219,608
5 はえなわ漁業	2,229	93,414	87,585	5,829	3,017	148,641	134,736	13,905
6 ごち網漁業	0	86,629	92,303	▲5,674	0	64,367	58,398	5,969
7 定置網漁業	1,128	290,285	330,804	▲40,519	755	130,458	157,763	▲27,305
8 採貝藻漁業	4,810	94,729	73,372	21,357	5,196	80,865	67,192	13,673
9 その他の漁業	2,126	577,884	517,808	60,076	3,519	197,074	172,697	24,377
10 張網漁業	1,444	8,593	10,978	▲2,385	946	5,457	6,041	▲584
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	42,565	71,822	84,215	▲12,393
合計	245,842	2,575,778	3,544,080	▲968,302	153,299	1,969,828	2,432,865	▲463,037



水揚情報

令和6年2月29日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
1月末迄水揚累計		1,787,272	75,916	53,649	699,315	111,083	238,444	152,398	24,384	432,083
月間水揚	県内船水揚	103,401	7,060	7,223	21,592	707	15,737	6,423	838	43,821
	県外船水揚	7,337	0	0	7,337	0	0	0	0	0
	合計	110,738	7,060	7,223	28,929	707	15,737	6,423	838	43,821
前年同月水揚		126,871	7,830	7,084	37,458	773	17,433	7,230	239	48,824
本年度水揚	県内船水揚	1,481,467	82,976	60,872	315,348	111,790	253,892	158,821	25,222	472,546
	県外船水揚	416,543	0	0	412,896	0	289	0	0	3,358
	合計	1,898,010	82,976	60,872	728,244	111,790	254,181	158,821	25,222	475,904
前年度水揚累計		2,348,657	93,151	59,602	1,029,646	113,223	295,411	158,002	28,617	571,005
増減		-450,647	-10,175	1,270	-301,402	-1,433	-41,230	819	-3,395	-95,101
本年度水揚計画		2,560,000	105,000	79,000	1,066,000	145,000	328,000	200,000	34,000	603,000
達成率		74.1%	79.0%	77.0%	68.3%	77.0%	77.4%	79.4%	74.1%	78.9%

今あがっている魚

- 2月のベストテン -

前年対比 増↗ 減↘ 変わらず→

水揚金額(千円)				 <p>月間MVP</p>	漁獲量(kg)				 <p>月間MVP</p>
1	たら	29,596	↘		1	たら	141,652	↘	
2	たい	17,075	↗		2	たい	23,173	↗	
3	ほっこくあかえび	11,277	↘		3	するめいか	7,142	↘	
4	するめいか	9,300	↘		4	ほっこくあかえび	6,596	↘	
5	やりいか	4,349	↘		5	さめ類	6,426	↘	
6	たこ類	3,694	↗		6	あんこう	4,440	↘	
7	あんこう	2,138	↗		7	やりいか	3,738	↘	
8	ひらめ	1,922	↘		8	さざえ	3,464	↗	
9	さざえ	1,759	↗		9	たこ類	3,178	↗	
10	あじ	1,501	↘	10	にぎす	2,930	↗		

● 早いもので、今年度も残すところわずかとなりました。来年度も組合員の皆様と情報や話題を共有し、より良い「おいん山形」を発行できるように広報担当一同努めてまいりますので意見・情報等ご提供くださいますようお願い致します。

● いつ何が起きても対応出来るよう普段から備えておきましょう。

● 能登半島の地震から二ヶ月半が経ちますが、未だに中部地方上部から東北を震源地とした地震が起きており、三月十五日の零時十四分頃には福島県沖で震度五弱の揺れが観測されました。その時、私は寝る直前でしたので揺れの始末で気づくことができたのですが、家族は揺れに気づくことなく安眠していたため、大きな地震の際に気づくことが出来ない場合を想定して備えておかなければと改めて意識させられました。

● 近年、全国的に気温が上がり、今年の冬はあまり雪が積ることもなく、嬉しいような寂しいような気持ちになります。

● 現在三月中盤、鼠ヶ関地区では天気の良い日は裏腹に低気圧の急発達による強風により漁に出られない日々が続いております。これも温暖化による弊害だと言われておりますがこのまま気温が上がりが続けることによって、海面上昇や海洋生物の生態や分布など多くの影響を受けると予想されています。少しでも温暖化を遅らせられるように、暖房の温度を少し下げたり、駐車場でエンジンを付けたままにしないなど簡単なことから始めてみようと思いましたが、



祝 山形県水産業賞受賞

2023年度 浜の活力再生プラン優良事列表彰



北洋丸 佐藤勝則さん

山形県水産業賞は、本県水産業の発展について顕著な功績のあった個人や団体を表彰し、本県水産業の振興に寄与する目的で昭和54年に創設された山形県の水産業における最高賞で、令和5年度は、大岩川の佐藤勝則さんと鮭川村サーモンロードの会が受賞しました。

佐藤さんは、若い頃から現在までの35年に渡り、指導漁業士として他県の漁業者と積極的に交流し、その中で得た技術や情報を地域内の漁業者に惜しみなく伝えたことや、平成4年度に鼠ヶ関漁業青年会の会長と同時に「鼠ヶ関大漁旗フェスティバル」の2代目会長に就任し、イベントの実施体制整備に努めて約1万人が来場する一大イベントに育て上げたこと、漁業体験を通じて未来を担う子供たちに漁業の魅力や漁村地域の活性化や担い手の確保・育成に寄与されたことが評価されました。



12月22日 鶴岡市長に
受賞報告した佐藤勝則さん(左)

鶴岡市農林水産部農山漁村振興課 主査 五十嵐 崇

全国漁業協同組合連合会会長賞を受賞しました

2014年に始まった「浜の活力再生プラン」は、水産業・漁業の地域活性化に向けた改革の取組みで、2023年末現在、全国で554の浜プランが策定されています。

この取組みは、漁業者と県、市町、関係機関がタッグを組んで計画を策定し、実践するもので、山形県では山形県水産業再生委員会が組織され実践しています。

「浜の活力再生プラン優良事列表彰」は、水産庁と全国漁業協同組合連合会(全漁連)が、漁業所得の向上や漁村地域の活性化に関し、他の模範となる顕著な実績を上げた水産業再生委員会を表彰しているもので、2023年度においては、底曳き部会の山形県機船底曳網漁業協議会が中心となって「漁業の成長産業化に向けて厳格な出荷基準を設定し、ズワイガニのブランドを確立」した取組が、全漁連会長賞を受賞しました。

3月1日(金)に霞ヶ関農林水産省講堂で開催された表彰式には、当該協議会の会員で、山形県漁協理事でもある飯塚厚司氏が出席し、坂本雅信全漁連会長から授与されました。

「底曳き部会」とともに「はえ縄部会」についても、今後の更なる漁業所得の向上を目指した取組を期待します。 指導専門員 小笠原 健



前列右から4番目 飯塚厚司氏

アオリイカとヤリイカの活造り



小型いか釣り先進地視察

2月19日から21日にかけて、イカ釣り漁業者の池田敏行氏、進藤優一氏、鈴木徳正氏、大場誠市氏、漁協の岡部太郎氏、佐藤悠太郎氏、酒田市の梅津傑氏と私の計8名で、活イカ出荷に向けた取組みを勉強するため先進地視察に行ってきました。視察先は、玄界灘のど真ん中にあり漁船漁業が盛んな宗像漁業協同組合、佐賀県唐津市にある活イカで有名な佐賀県玄海漁業協同組合の呼子町総括支所、イカ活造りで有名な飲食店の「河太郎 呼子店」です。

宗像漁業協同組合では現役のイカ釣り漁師さんから、ケンサキイカのタル流し漁法について話を聞いてきました。

呼子町総括支所では、漁業者・漁協・料理店・行政が一体となって活魚水槽や販売ルートを整備を進め、最初は活造りを提供する店は1店舗だったが、話題性と評判から数年後には20店舗に増えたという話が印象的でした。

河太郎呼子店ではアオリイカとヤリイカの活造りを堪能しました。豪快な見た目にコリコリした歯ごたえ！ 最後に残ったゲソを天ぷらにしてくれるサービスも最高でした！



漁業者に貸し出している活魚水槽



河太郎呼子店の活魚水槽

活イカパック機の導入

庄内浜ブランド創出協議会イカ部会では、イカ類のブランド化に向けた取組みとして、高値での取引が期待できる「活イカ」のブランド化を進めています。そこで、活イカや活魚を生きたまま酸素とともにパックできる機械を、さかた総合市場・由良総括支所・念珠関総括支所に導入しました。

年間を通してスルメイカ・ヤリイカ・アオリイカ・ケンサキイカを美味しく活造りで楽しめるように、関係者と協力して進めて行きたいと思います。



ヤリイカの酸素パック



活魚&活イカ酸素パック機器

庄内総合支庁水産振興課 専門水産普及指導員 工藤 創